

普及活動情勢報告（平成27年9月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

情勢報告

環境制御技術の普及・推進・・・JA 高知はたの各生産部会等でPR・・・	
	JA 高知はた各部会（大方園芸部総会:8/24、宿毛ニラ・ミョウガ反省会:8/26、中村園芸部総会:8/28、佐賀ニラ部会総会:8/31、宿毛園芸部総会:9/2、大方イチゴ部総会:9/8）において、環境制御技術加速化事業の推進や環境制御技術の必要性、県内の各品目の平成27年度グループ実証成果等について説明をしました。 炭酸ガス発生装置については、すぐに導入したい方はいませんが、環境測定装置については、新たに4名程度が導入を検討しています。 農業改良普及課は、今後も引き続き各生産部会において、環境制御技術加速化事業と併せて環境制御技術の普及を推進していきます。
環境制御技術の普及・推進・・・大月町米ナスほ場でデモ機を設置・・・	
	8月26日、大月町において、環境制御機器メーカーによる説明会が行われました。この会には4名が参加し、活発な意見交換が行われました。また、説明会終了後、環境測定装置のデモ機を米ナスのほ場に設置しました。 農業改良普及課では、環境測定装置を活かした栽培管理の方法や環境データの活用法を指導するとともに、環境制御技術が普及するように実証ほどの成果をフィードバックしていきます。
集落営農組織の法人化を進めよう！・・・法人設立検討会を開催・・・	
	9月1日に四万十市田野川甲集落で、9月9日には黒潮町小川集落で集落営農組織の法人化に向けた検討会が行われました。 両集落では数年前に集落営農組織を設立し、現在約10haで水稻や飼料用米、作業受委託を行っています。田野川甲集落では12月、小川集落では10月に法人設立総会を計画しており、定款、規約、規程、経営計画、事業導入計画、農地中間管理事業など、幅広い勉強会と話し合いを行っています。 農業改良普及課では、今後も関係機関と協力して法人設立に向けた支援を行っていきます。

幡多と高南地域の集落営農法人の輪を広げよう・・・集落営農法人交流会を開催・・・



8月26日に黒潮町の大方あかつき館で、集落営農法人間の連携や協力を推進するため、幡多地域と高南地域の集落営農法人交流会を開催しました。幡多地域から5組織、高南地域から4組織の法人と関係者を合わせて約40名が出席しました。

交流会では、各法人から現在の取り組み状況や課題の報告を受け、作物栽培、労務管理、機械更新、後継者育成など幅広い意見交換が行われました。また、県地域農業推進課からは、県域の集落営農法人協議会の設立に向けた提案もありました。

農業改良普及課では、今後も法人の活動強化と併せて、新たな組織設立を含め、幅広い支援を行っていきます。

佐賀ならではの加工品を作ろう・・・6次産業化に向けてチーム会を開催・・・



9月2日、黒潮町佐賀北部集落活動センターにて、佐賀北部活性化推進協議会食部会のメンバーが3回目の試作品づくりを行いました。試作品を試食した後、改良点や地域産物に変更できる食材などについて話し合いを行いました。

メンバーからは、「ゆず酢や魚等を使った商品を作りたい」という声がありました。

今後も農業改良普及課では、松田アドバイザーや佐賀温泉の料理長のアドバイスをもとに、味の調整を行い、山と海の食材を使った商品づくりに向けて支援していきます。

キュウリの安定生産にむけて・・・大方地区きゅうり反省会の開催・・・



8月20日に、黒潮町改善センターにおいて大方園芸部キュウリ部会は反省会を行い、1年間の取り組みや販売結果等を検討しました。生産者の参加者は25名でした。

農業改良普及課から褐斑病やアザミウマ対策について情報提供したところ、生産者は、薬剤散布や天敵導入について活発に意見交換を行いました。

農業改良普及課では、今後もキュウリ増収に向けて炭酸ガス施用、品種、天敵について地域で検討された栽培技術を整理し、地域にあった技術を促していきます。

「海から山から地域を元気に！」・・・黒潮町農漁村女性グループ研究会・・・



9月7日、第35回黒潮町農漁村女性の集いが開催され、65名が参加しました。

研修会では、県産業振興推進部幡多地域本部の前田振興監から集落活動センターの概要や役割、県の支援策について、地域おこし協力隊からは地域での活動紹介、黒潮町職員からは南海トラフ地震対策、県外から移住し、黒潮町内で活動している夫婦の事例等の発表がありました。

参加者からは、「自らができることは何かを考えるきっかけを得ることができた」との声がありました。

今後、農業改良普及課では、反省会を開催し、研究会活動への支援を行います。